

団体名 構成員名		Q3 各事業の来年度の方向性			
		①学生による観光資源の情報発信等	②アンケート調査の詳細分析等と対策検討	③関係案内所等の先進事例勉強会の開催等	④産学官関係者の連携強化に向けた交流促進
大学等	高松大学・ 高松短期大学	継続（強化・改善）	廃 止	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		大学と自治体による既存の包括的な連携体制を超えた「活性化」あるいは「観光」に特化した連携体制を整備することが肝要と考えるため	やはりアンケート調査には限界があるとともに、収集できる情報が概ね想定できるため	「香川県」という漠然とした範囲設定ではなく、モデルを設定して実施することが肝要と考えるため	特に学生と産業界との交流を促進する（インターンシップの促進等）ことが肝要と考えるため
	香川大学	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生間による地域理解の観点では、引き続き継続し他自治体への横展開をおこなうことで新たな知見の創出に繋がると考える。構成員によるサポートも必要であるとする。	就活学生の思考・行動分析と、社会人を対象としたアンケートによるニーズの違いなどを比較し、部会として取り組むべき観点を創出してはいかがでしょうか。（今年度の分析結果について公開していただけますか）	引き続き進めていただきたい	産官学の有機的な繋がりは、スタートアップや共同研究への発展、地域課題解決などの効果が見込まれ、大型補助金の獲得にも繋がることもある。前向きに取り組める方々で楽しく交流会が実施できることを望みます。
	四国学院大学	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		PFの事業として進めるにあたっては、観光だけでなく、産業界を知るための学生目線の情報発信の取組みも必要に思います。	今後外国人が、職場や就学などあらゆる場面でさらに増えてくることは明白なことから、香川県としてどう受け入れ、どう香川県で居てもらうのかにつなげるための調査分析はしてみても良いと思います。	他四国内市町の産学官による成功事例の勉強会など。	実施するのであれば、出来る限り現場の方同士との交流会が良いと思います。
	徳島文理大学	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生独自の視点を活用でき、学生の地域理解も期待できる。また、産学官交流の場にもなる。	外国人材の活用という観点から、外国人（留学生を含む）や企業等への就業に関する調査を行ってみてはどうか。	視察や講演会開催など県外事例の勉強会も実施してはどうか。	大学の持つシーズと経済界・自治体のニーズのマッチングの場所として「なんがでっきょんな さぬき大交流会」を開催してはどうか。
	香川短期大学	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	その他
		人の流れを呼び込むためには観光への注力が必要であり、そこに若者のアイデアを生かすことが有効と考えられる。	内閣府のRESAS等を利用して人口が流出している原因をある程度絞り込み、情報が足りない部分を実際のアンケートで補うなど、効果的な実施が望ましい。	現地を訪問して話を聞くなど、あらゆる活動を通じて地域活性化のためのヒントを得る姿勢は必要。	異分野での交流を通じての情報交換を試してみる価値はある。
経済団体	香川県中小 企業家同友会	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		いい取り組みだとは思うが、効果的な情報発信強化が必要。	アンケートにも書いてあったように、より詳細な定性調査等の実施が必要。希望の給与水準ラインや希望の福利厚生、勤務体系などがわかると企業としてもその水準にあげるためにどのような高付加価値の企業づくりをしないとイケないかがわかるようになる。	県内よりも県外から学ぶほうがいいかもしれない。	交流よりもより深い議論ができる場があるとありがたい。総会の場合各首長の顔見世の場になっているが、半日などの時間をとってでもあのような場で前向きな議論が交わせる会が理想的。
自治体	高松市	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生による観光資源の情報発信を行うことで、発信に活用したSNS等については、若い世代での認知度向上やフォロワー獲得という効果が見込まれるが、それ以外の効果は見えにくいのではないかと。	外国人や社会人のニーズ調査そのものは否定しないが、高校生や大学生も含めて、若者がどうすれば香川県に定着してくれるようになるかのニーズ調査も必要ではないかと。	先進事例勉強会そのものの意義は否定しないが、それで得られる知見をどう実践するかの道筋を立てた上で参加しなければ、活用しにくいのではないかと。	どの機関が事務局を担うのが重要ではないかと。
	丸亀市	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	その他
		観光者向けでなくても、学生のお気に入りスポットを紹介することで、地域の魅力発信につながるのでは。	引き続き、学生や社会人のニーズを調査することで県内定着への課題が見えてくる可能性がある。	関係人口に関する理解を深めるため、先進事例を学ぶ機会があるとありがたい。	交流会から連携強化のつながりをつくるのは難しいと感じる。何か別の目的をもった活動を通じて関係者のつながりを深めてはどうか。
	坂出市	廃 止	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生目線による情報発信の取組みについては、高校生等も含めて本市においても既に同様の取組みを行っているのだ。	同上（次年度は県内市町の多くにて、地方版総合戦略の改定を予定しており、若者の定着に関する詳細な分析や外国人ニーズ等の調査結果は、改定に向けた参考調査として有意義なものと考えられる）	連携事業に関する先進事例勉強会については、国等からも多くの案内をいただくがなかなか参加が難しい現状があり、本部会においても対象者やテーマ、実施方法など検討が必要ではないかと。	連携事業を進めていく上で、地域ごとに取り組むべき課題は存在するはずであり、分野やテーマを絞って交流を図ることで、今後の連携強化に繋げることができるのだ。
	善通寺市	継続（強化・改善）	その他	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		各構成員が実施する既存の取組みと一線を画するようなものができるなら継続すべき。	継続・廃止の判断をしかねる。	引き続き実施した方が良いと感じるため。	連携する土壌（人と人との繋がり）が整っていない・足りないと感じるため。
	観音寺市	継続（強化・改善）	その他	その他	
		既存の官学連携の枠組みで行き詰まっている点を、PFの新たな枠組みで発展させ、横展開していくのはどうか。	外国人や社会人ニーズを調べることは有益であると考えるが、就活学生のアンケート結果にアプローチした事業の検討を優先してはどうか。特に「香川県内での就職希望者を増やす取組」の回答のうち、「小学校～高校の段階で県内企業を知る機会を増やす」について県教委と連携調整を図り、さらに掘り下げて事業化の実現に向けて取り組むべきではないかと。 例：小中学生の職場体験に関わるようなプログラム。（個別の出前講座やキッズニアのような多業種体験型など）	新規事例の紹介以上に、これまでに開催されてきた勉強会での内容を、PFの枠組みの中で展開していくことを優先してはどうか。昨年度の勉強会で事例の紹介があった関係案内所の設置について、一例として移住体験施設や民泊の経営者に地域情報コンシェルジュを任命し（本市の移住体験制度の利用者が、滞在中に生活に密着した情報を、宿泊先の地元スタッフから得ていることが推測される）、自治体の枠を超えてコンシェルジュネットワークを展開するなど。	
	さぬき市	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		実感として取組が見えてこないため、強化されたい。	大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭等により、外国人の関心も高まっていると考える。行政の各取組の根拠資料とするため、幅広く調査することを期待する。	産官学連携に関する先進地域の取組に関する勉強会を実施してみてもどうか。	移住、関係人口の創出分野に関する交流会を企画してみてもどうか。
	東かがわ市	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		横展開を想定した構成団体にメリットが感じられる取組みが進められるのであれば継続を希望する。	産学官のよる各々の視点での調査・分析は有効と考えるので、継続を希望する。 行政では困難な分野の調査を行ってもらえと活用しやすいと思う。	関係案内所等の先進事例を踏まえて、具体的な活用検討が進むよう継続を希望する。	産学官関係者のつながりを持つ機会が増えることに意義を感じており、新しい取組みへの発展にも期待できるため、継続を希望する。
	三豊市	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生からの意見は重要で、斬新なアイデアが出る可能性も秘めているので、学生目線からの情報発信は継続すべきだと考える。学生から行政の提案、行政と協同しての取り組みにつなげることができれば、取り組み自体の強化になると考える。	学生だけでなく、社会人経験者のU/Jターン就職に関する調査をしてみてもどうかと考える。家族連れの場合もあるので、世帯での地域間の動きにつながると思う。	各市町持ち回りで、毎年各地域の取り組み等をまんべんなく学べる勉強会。 移住・定住人口増加するための取り組みについて学べる勉強会。	部会を超えての交流会の企画。就職分野、移住定住分野、教育分野、関係人口分野など少しせまい分野の交流会をすることで、最終的にはすべて地域活性化につながるような意見交換ができる場になるのではないかとと思う。
	土庄町	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
	小豆島町	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		若者や住民以外の既存の取組とは違う視点からの発信も有効と考えるため。	本町内でも外国人の就業者も増えているため、人材確保の観点からも新たに調査してほしい。 就活学生より下の年代の傾向も知りたい。	課題共有や情報交換の機会として有効と思われるため、継続してほしい。	国くなりすぎず意見交換や交流する機会は重要なので、実施してほしい。
	三木町	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	廃 止
		情報発信の手段に関し、差別化が必要であるとは考えられない。いまだ利用者が多いツールであり、内容の差別化の検討を優先すべきである。	外国人の就業に関する調査及び企業側への外国人採用に関する取組状況調査行ってみるのはどうか。	必要である。	参加することが目的となり連携強化につながらない場合があるため、プラットフォームにおいて検討・実施すべきではないと考える。
	宇多津町	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		情報発信は引き続き強化すべきである。県の公式SNSで学生の投稿が実施されているが、これを各市町に展開し、通常の市町の発信とは別に、リレー形式等で県内の魅力情報や誰も知らないような情報を発信できればいいと考える。	分析結果から見えるポイント等を共有し、それぞれの自治体で実施可能な事業の検討やアイデア出しを行うことで、施策検討の選択肢が広がると考える。	11月15日開催の三豊輪の件など、非常に有意義で考えさせられる時間であった。地域の外に飛び出し、刺激を得ることは重要だと思う。	賛成である。現在参加しているが、どうしても深い関係性にはなれていない状況である。交流を深め、仲間を増やし、気軽に相談ができる関係づくりが重要である。
	綾川町	継続（強化・改善）	廃 止	廃 止	その他
		フォトロゲイニングを実施し、多くの学生に参画してもらう。	現行の体制では、アンケート調査を実施しても結果を活かしきれない。	サテライトオフィス等、地方へ進出した企業等との意見交換の場を積極的に設ける。	まだ実施していないので、意見はありません。
	琴平町	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		学生目線の取組を本町で行っていないのだ。	本町も外国人の労働者が多いので、調査し実態を把握したい。	先進事例から学ぶことは多いと思います。	就業分野に関する交流会を企画してみてもどうか。
	多度津町	その他	その他	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		観光資源の情報発信は交流人口の増加に繋がるものと考えていますが、「若者の定住」に繋げるためには、県内の「生活」や「仕事」等の情報発信も行う必要があると思いますので、学生目線による「香川の住みやすさ」や「香川で働きたいと思うポイント」等を発信しても良いのではないかと考えます。	アンケートは継続すべきと考えますが、【アンケート実施⇒アンケート結果を基に実施した事業の取りまとめ⇒アンケート実施】のように、毎年度アンケートを実施するのではなく、結果に基づく事業を検討・実施した後に、効果検証の意味合いも含めてアンケートを行っても良いのではないかと考えます。	事例研究は必要であると考えますが、毎年度、部会内の課題共有・再確認を行った上で、その内容に即した勉強会を開催すると良いと考えます。	関係者間での定期的な意見交換の場は必要だと考えます。人事異動等でメンバーは入れ替わるため、協力いただける学生も含め、可能であれば年度の早い段階で、その年度の関係者の顔合わせを行うと良いと考えます。
	まんのう町	継続（強化・改善）	廃 止	継続（強化・改善）	継続（強化・改善）
		新しい視点からの情報発信は重要であるため	Q2の企業説明会で直接聞き取りを行う	香川県が一丸となれるような事業を選定すべきだと思う	Q2のとおり、企業紹介や就労支援は必要だと思う